

地域応援団本部発行

原野谷学園だより

16

平成30年6月5日

原野谷学園事務局（原田小）

TEL 0537-26-0061

第4回新たな学園づくり「地域検討委員会」(5月8日) 原野谷学園小中一体型校舎のメリットとデメリットを協議



グループワークでの検討場面（原野谷中）

5月8日に原野谷中学校において第4回地域検討委員会が開かれました。原野谷学園の小中一貫教育を推進するための学校施設等についての協議となりました。特に本年度は地域検討委員会で施設形態の在り方の方向性をまとめていくことが大きな課題です。そこで施設形態についての協議を2グループに分かれて行いました。その協議の中で原野谷学園の施設一体型と施設分離型のメリットとデメリットを出し合い理解を深めていきました。

最後に山崎委員長からは協議されたポイントとして中一ギャップの問題や少子化に伴う社会性の機能低下の問題などについてのまとめのお話がありました。

新たな学園づくり「保護者説明会」開催（園・各小） 5月上～中旬

○ とにかく説明会に参加してよかった。

各保護者への説明会場では、参加された保護者の何人かの方から「話題が新たな学園づくりというわかりにくい内容なので初めは参加することをためらったがとにかく来てよかった」という言葉が聞かれました。以下は説明会で話された保護者の声の一部です。「この原野谷地域の学校が大きく変わるかもしれない事が分かりました」「学校の在り方が変わる事は不安でもあり希望でもあります」「そんなに子どもの数が減少しているのか」「一体型学校になればどんなメリットがあるのか」「今の学校ではいけないのか」・・・等々。



原田小保護者（5月19日）



原谷小保護者（5月19日）



あんり園保護者（5月1日・昼の部）



あんり園保護者（5月2日・夜の部）

H30年度 原野谷学園の新会長に山本義弘氏が就任 原野谷中学校長に鈴木政昭氏が就任

平成30年度新会長になりました山本義弘です。前任者の久米正雄さんの残任期間の1年です。市指定の「小中一貫教育」の研究が昨年度より始まり、9ヶ年を見通した教育を地域がどのように支援をしていったらよいか、地域の皆様方のご意見をお聞かせいただき原野谷学園の活動に生かせばいいと思います。この事につきましては、皆様方の多方面にわたるご協力をいただき務めを果たしていく所存です。（原野谷学園会長 山本義弘）



前任の県立稲取高校の所在地、賀茂郡東伊豆町では、平成30年3月末総合教育会議において町内2カ所での小中一貫教育整備の方向性が出されました。少子高齢化社会における学校教育環境整備は県内各地において重大かつ喫緊の課題となっています。学園化構想研究事業を進めるに当たって微力ながら県立高校での経験を生かし、2小学校、市教委、地域の人々と一体となって研究を進めて参りたいと思います。（原野谷中学校校長 鈴木政昭）



原田・原谷の子供達は自然に囲まれ地域の方々を支えられ健やかに育っています。本年度から原田・原谷小五年生の自然教室での交流、原田小と原野谷中のきりり！ふれあいコンサートの合同練習が予定されています。小中一貫教育には学校間だけではなく家庭や地域の協力連携が必要です。様々な活動を通して皆様と共により良い原野谷学園作りに取り組んで行きたいと思ひます。

（原田小学校PTA会長 岩本亜紀子）



地域の人々に学ぶ①（原谷小児童・とうどの森伝説を学ぶ）

5月1日（火）に原谷小学校は学校行事（遠足）がありました。よく晴れた遠足日和の中、3年生と4年生の児童が本郷東地区にある伝説の地「とうどの森」にやってきました。現地では青木一さん（西山区）と太田敏子さん（本郷東区）による人形劇が行われました。当地に古くから伝わる伝説のお話です。児童は身近な地域の中の伝説に興味を持って熱心に聞き入っていました。なお、7月1日には「とうどの森供養祭」が当地で午前9時から本郷東区主催のもとで行われます。本年度も一般公開をいたします。ぜひ興味のある方はおいで下さい。



とうどの森での人形劇の説明

地域の人々に学ぶ②（原田小児童・「現代の名工」建具士に学ぶ）



大工を志している山本飛君と佐次本さん

2月14日（水）に原田小学校6年生の「夢原里学習（総合学習の時間）」で地元建具士の佐次本武司さんの作業場を訪れました。佐次本さんは原田小出身で児童たちの先輩です。佐次本さんは「現代の名工（卓越技能士）」に選ばれた匠です。

平成29年11月に厚生労働大臣表彰の荣誉に輝きました。児童たちは佐次本武司さんから建具作製の様子を聞き取っていました。名工の技を学ぼうと児童たちの真剣なまなざしの姿が見られました。佐次本さんは今までにも数々の受賞をしています。平成7年の全国技能グランプリ大会でも優勝しています。この時には労働大臣賞を受賞しています。



建具の作り方を教える佐次本さん

地域応援団本部発行

原野谷学園だより

17



平成30年8月1日

原野谷学園事務局（原田小）

TEL 0537-26-0061

原野谷地域の皆様への参加のお願い 小中一体型校舎の「地域意見交換会」開催

8月24日（金）原野谷中体育館：午後7時～

原野谷学園新たな学園づくり地域検討委員会では、昨年12月から、小中一貫教育にふさわしい学園・学校の在り方についての協議検討を行ってきました。

「地域検討委員会」では小中一体型校舎を建設していく方針で意見がまとまり、それに向けた協議検討を進めています。第2回「地域意見交換会」が8月24日（金）午後7時より原野谷中体育館で開催されます。ぜひ多くの保護者の方を含めた地域の方々に参加していただきたいです。そして地域ぐるみで子どもたちを育てる原野谷学園体制をつくっていききたいです。



原谷小での中学校英語教員による外国語活動の授業風景（小中一貫教育）

【原野谷学園地域応援団本部代表者会より】

原野谷学園は小中一貫教育に向けて動き始めています。全国には先陣を切って一貫教育を進めている事例も多く、計画段階のものも含めて考えると、高等教育までも含めた6334制を今一度考え直すような大きな潮流に乗っているともいえます。地域の学校教育を考えることは少子高齢化し高度情報化したこの社会の未来を考えることとなります。大勢の人々が集い、様々な観点から意見を交換し、地域一丸となって未来を創りましょう。

（原野谷中学校校長 鈴木政昭）

この一年間、原野谷学園の小中一貫教育への取り組みについての「地域検討委員会」に参加してきました。このほど「地域検討委員会」として小中一体型の一貫校を目指すという意見がまとまりました。このことは地域の人達の総意の中で決まっていくことが大切なことだと考えています。そこで、8月24日（金）に予定されています「地域意見交換会」には、ぜひ地域の多くの皆さんに参加していただき、一貫校への取り組みを理解していただきたいと思ひます。

（原田地区まちづくり協議会会長 久米正雄）

原田・原谷地区で小中一貫校の実現に向けた話が進んでいる事が、地域の皆様の日常の会話の中にもっと出てくるようになっていければいいなと思っています。今回の地域意見交換会では単なる学校の建て替えの事だけではなく、教育成果を上げる学校形態の在り方や学校と地域との交流の在り方等が議論の中心になってきます。この地域で今進んでいる大きな変化を皆様と一緒に考えていきたいです。8月の地域意見交換会には多くの皆様のご出席をお願いします。（原谷地区区長会長 山崎 潔）

地域応援団本部発行

原野谷学園だより

18

平成30年10月1日

原野谷学園事務局（原田小）

TEL 0537-26-0061

原野谷学園の夏季研修視察（8月21日） 浜松市立浜松中部学園学園（施設一体型校）

原野谷学園の研修視察者一同



浜松中部学園を視察見学して

8月21日（火）に原野谷学園内の地域住民・保護者と市教委・市役所の職員や小・中の教頭・校長の32人で浜松市立浜松中部学園を研修視察してきました。

視察校は平成29年4月に開校した施設一体型の小中一貫校でした。浜松中部学園校長からは現在は自信を持って目指すべき方向に確実にあゆみを進めていると熱く語ってくれました。それは、すべての教職員が一丸となり、「変わる」「質を高める」「誇りを持つ」のキーワードを念頭に前向きに取り組んできたからといった具体的で説得力のあるお話が聞けました。



学校経営構想を語る浜松中部学園校長

校長先生のお話から自信に溢れた熱意を感じました

地域検討委員として、浜松中部学園へ研修視察を行いました。開校二年目で学校施設が全て新設され、とても綺麗でした。図書館、音楽室、パソコン室などがとても充実され、各部屋の外側・廊下側には大きな窓ガラスとなり、室内が明るくとても開放的で魅力的でした。学校説明では学園の校長先生から自ら検討・協議・設立に携わり自信に溢れていて、熱意を感じました。浜松中部学園では検討から工事完成開校まで十年の歳月がかかりました。原野谷学園でもより多くの方からも関心を持っていただき、より早く充実した学園を目指したいものです。 地域検討委員（杉山喜啓）

浜松中部学園を視察見学して

【特色ある施設の紹介】



高低差を利用した長い滑り台



屋上にあるプール

浜松中部学園は、浜松城公園近くの市街地に設置され、施設一体型一貫校として普通教室のほか多種の特別教室等が配備され、こどもの発達段階に応じた質の高い教育を進めている施設環境や教育環境の良いところが多く見受けられました。原野谷中学校の校舎もすでに56年を経過し、校舎の建て替え検討時期かと思われます。地域総ぐるみの支援体制で、子どもの学びと育ちをサポートする新たな学校が早い時期に立ち上げられればと感じています。

原谷地区まちづくり協議会事務長 名倉功

小中一貫型の学校は、発達段階に応じた学年ごとの質の高い教育・指導と反対に学年の枠を越えた広い視野の中での教育の質を高めることを9年間かけてゆっくり着実に築き上げていくそうです。尚、子ども達一人一人の個性にも、多くの先生方が共有でき柔軟に対応していただける事も魅力的だと感じました。基礎的・自立的・充実期の4年-2年-3年制度は子ども達の成長・発達段階においても無理なく配慮が行き届いた学年ごとの構成や運営を築ける期待を感じました。

地域検討委員会委員 山本千恵

第2回地域意見交換会が開催（8月24日）

地域からの参加者は177名（原野谷中学校）

平成30年8月24日（金）に原野谷中体育館において第2回地域意見交換会が開催されました。参加者は前回の第1回目と比較して2倍以上の多くの方々がお見えになりました。始めに市教委からの経過報告では第1回から5回までの地域検討委員会で検討報告等がされました。

その後の意見交換会では延べ10人以上の多くの方々から様々なご意見が聞かれました。予定の時間を多少オーバーするほどの多くの方々の意見交換が見られました。1人でも多くの方々が必要な学園づくりに関して関心を持っていただくことがとても大事なことだと思っています。



原野谷中での意見交換会風景

地域意見交換会に参加して思う

掛川一の学校の建設を

教育委員会は時代に対応した新たな学校づくり推進のため、市内で最初に原野谷学園に声をかけてくれました。未来を見据え、子どもたちに必要な資質や能力を育てる学校をイメージしたとき、従来型の学校よりもそれに見合う十分な施設環境や人的支援を備えた新たな学校を創ることが原野谷学園の発展につながります。地域の方の意見を取り入れながら掛川一の学校が原野谷学園に完成し、地域のシンボルとして輝くことを願います。 原野谷中教頭 柴田勝明

もっと若い人達の参加を期待したい

多くの方の出席があり、貴重な意見をいただきありがとうございます。発言された方は一体校に賛成が多いと感じました。今後、検討委員会では一体校に向けてまとめていくことになると思います。開校二年目の浜松中部学園では子ども、教師にとっても良い現れが出てきていると言われました。課題もありますが教師の工夫が中心でありました。この新しい学校建設の動きに若い人達の参加をもっと期待します。

原谷地区区長会長 山崎潔

合意者を増やし新たな地域の学園づくりをめざしての行動を

8月24日は台風が去り、小雨が残る足元の悪い中、本年度の各地区の役員さんを中心に大勢の皆様のご出席をいただきました。教育長のあいさつ、担当の説明、検討委員会の山崎委員長の経過報告、そして意見交換会と進みました。発言者の中には、内容がしっかりと伝わっていない方もおりました。地区の皆様にもっともっと回数を重ねて、丁寧な説明を行い、合意者を多く増やし新たな地域の学園づくりをめざしての行動が必要と思いました。

原野谷学園会長 山本義弘

地域応援団本部発行

原野谷学園だより

19

平成31年1月1日(元旦号)

原野谷学園事務局(原田小)

TEL 0537-26-0061

原谷小学校1年生の「生活科」(12月13日)

地域の年長者による「昔の遊び」楽しかったよ!



12月13日(木)に原谷小学校体育館で生活科授業「昔の遊び」が行われました。

昔の遊びの内容は、「竹とんぼ」「ケン玉」「コマ回し」「お手玉」「あやとり」「紙飛行機」「ダルマ落とし」などであり、1年生35人が4グループに分かれて歓声を上げるなどしてチャレンジをしていました。五感を使って体を動かす昔の遊びですから取り組み始めると、どの子も目を輝かせて遊びに夢中になっていました。昔の子ども達の遊ぶ姿と何ら変わらぬ様子を見て、参加された地域の年長者達も童心に返ったような表情で一緒になって楽しんでいました。

昔の遊びを終えての集合写真



「あやとり」・「お手玉」の様子



「紙飛行機」を飛ばすところ



「竹とんぼ」の飛ばし方

【子どもたちの感想の声(原文のまま)】(敬称略)

だるまおとしをおしえてくださりありがとうございました。やったことがなかったのをやらせてくれてありがとうございました。

(かわい りお)

さいしょはけんだまをのせることができなかつたけど、おしえてくれたので、できるようになってうれしかったです。

(やまもと ゆうひ)

よくとぶかみひこうきをつくってくれてうれしかったし、たのしかったです。またおしえにきてください。ありがとうございました。

(小ざわりゆうと)

竹とんぼをおしえてくださりありがとうございました。

竹とんぼをもう一回チャレンジしたいです。

(山ざき しょうた)

お知らせ

原野谷学園「第3回地域意見交換会」の開催

日時 平成31年1月26日(土) 午後1時30分から

会場 原野谷中学校 体育館

内容 小中一貫教育を推進するための新たな学園・学校づくりの在り方の検討結果を原田・原谷地域の全住民を対象にして説明し、ご意見を求めてまいります。

「報告書」作成前の最終説明会です。

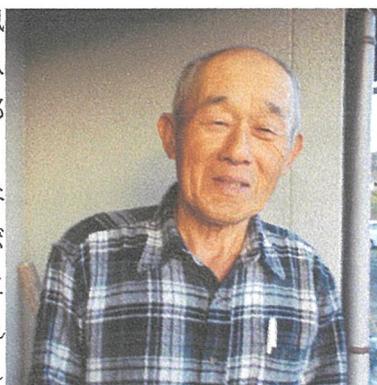
台風24号の猛威 原野谷中の二宮金次郎像が破損 鈴木由太郎様(幡鎌) 復元ありがとうございました

昨年の9月30日の深夜に台風24号が最接近しました。猛烈な風雨により静岡県内では66万戸の家庭が停電するなど甚大な被害の爪痕を残しました。この台風は原野谷中学校の校庭にあった二宮金次郎像を強風で吹き飛ばしてしまいました。右下の写真のように、大きく腕の部分

が破損しました。この二宮金次郎像は平成26年度に原野谷学園の有志ボランティアにより建立されたものでした。

その時の像の建立に携わってくださった鈴木由太郎さんに相談したところ、快く修理を引き受けて下さいました。そして、見事に左の写真のように復元をして

下さいました。



鈴木由太郎さん(幡鎌)



見事に復元された原野谷中の二宮金次郎像



破損した金次郎像

台風一過の朝、倒木に驚き、ブルペンの屋根と防球ネットに驚き、上半身の吹き飛んだ金次郎像に気づく頃には、台風被害にいささか辟易しておりました。途方に暮れる暇もなく、建立時のメンバーがすぐに動き出してくださり修復が叶いました。これまで毎日、生徒や職員の様子を見守ってきた物言わぬ金次郎さんは、原野谷学園に対して厚い思いを持つ方々の気持ちを代弁するために、そこに立ち続けていることを再確認できました。

(原野谷中学校校長 鈴木政昭)